

図書館だより

2025年

天理高校図書館

3月



『ねえ、おぼえてる?』

シドニー・スミス 作 原田勝 訳 偕成社

シドニー・スミスさんは1980年、カナダのノバスコシア州に生まれました。2024年度国際アンデルセン賞・画家賞を受賞し、今後の活躍が期待される作家です。3年の歳月をかけて自らの子ども時代の体験を描いた作品がこの絵本です。明かりを消したあとのベッドでかわされる母と子の会話。喜びと痛みをともなう思い出を受けとめて、新しい人生を歩みはじめる2人を照らす朝の光が印象的です。後悔や迷いが、すっと消えてゆく絵本です。



2024年度は、皆さんにとってどのような1年だったでしょうか?長い1年、それとも短い1年でしたか? 図書館では、3月10日に最後の図書委員会を開催しました。1年生図書委員は、「おすすめ本紹介」「ポップ作成」「青空図書館」そして、何より大事な「本を借りて読む」ということに積極的に参加してくれました。ありがとうございました。

今月の特集は、「おすすめの絵本」です。絵本は、小さな子どもだけのものではありません。私たちが読んでも、楽しく、ワクワクできる本、思わず笑ってしまう本、心がじわーと温くなる本など、色々ありますよ。4月には新着図書もたくさん入ってきます。4月6日始業式、図書館で逢いましょう(*^-^*)



『シカしかいない』

さく・キューライス 白泉社

奈良県ではおなじみのシカ。そのシカだけが登場する絵本です。本当にシカしかでてきません。芝生広場で日光浴?! 公園でブランコ遊び。バイキングレストランや映画館もシカだらけ。細かいところにもシカがいっぱいなので、お見逃しなく。絶妙におもしろい、シカ絵本です。



『ちよっぴりながもちするそうです』

ヨシタケシンスケ 著 白泉社

「けしごむを立てておくと」「『なんかかなるんじゃないかしら』という気持ちがちよっぴりながもちするそうです。」

疲れた心を少し元気にしてくれる、おまじないのような言葉と優しい絵がいっぱいの絵本。日常に疲れて、「もう、やってられない!!」となげやりな気持ちになった時に、一服の清涼剤になるような絵本です。



『どすこいみいちゃんパンやさん』 町田尚子 作 ほるぷ出版



『ネコゾメのよる』『ねこはるすばん』など、ネコが主役の作品をよく書かれている町田さん。今回は、毛なみつやつや、ちよっとぼつりりのパン屋ネコ・みいちゃんが主役です。すぐリアルに書かれていて、「にらんでますか?!」というくらい目つきが鋭いのですが、最後まで読み進めると、かわいくて、かわいくて、赤と白の縞々エプロンは、まるで、化粧まわしのように。表紙は、フランスパンをかついで、大相撲の弓取り式の場面でしょうか?!くすすと笑える作品です。

ポジショニングマップを作ってみました!



「青春」というテーマで本を選び、縦軸を「光」と「闇」、横軸を「家族」と「友達」として、本の内容をマップにしてみました。本選びに悩んだ時、このマップを参考にしてもらえたらとてもうれしいです。(図書館より)

図書委員をやってみて思った事(1年生図書委員より)

○思ったより仕事が多かった。図書委員じゃなかったら、絶対図書館には来なかった。○知らない本がたくさんあって、いろんな本が読めて楽しかったです。○本を読みたいと思いながら、これまで読む機会がなかったのですが、そのチャンスを与えてもらってありがたかったです。○図書館で本を借りたことがあまりなかったので、今回委員会がきっかけでたくさん本を読めてとても勉強になりました。○元々、本が好きだったので、図書委員になりたいなと思っていました。1年間とてもやりがいのある活動ができました。○行事がたくさんあって大変でしたが、同じ図書委員の人と仲良くなれたし、やりがいもあって楽しかったです。また、本を読む機会も増えたので、よかったです。○色んな本を知れて、とても貴重な経験となりました。



図書委員のみなさん、1年間ありがとうございました!



長期貸出期間に図書館の本を借りた人は、**4月6日始業式**に本を返却してください。ご協力をお願いいたします。